

大東監告示第 1 号

工事監査の結果について

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 199 条第 2 項の規定により工事監査を実施したので、同条第 9 項の規定によりその結果を別紙のとおり公表します。

令和 7 年 2 月 21 日

大東市監査委員 乗 本 良 一

大東市監査委員 小 南 いちお

令和6年度工事監査結果について

1. 監査実施日

令和7年1月17日（金）

2. 監査対象

本市が施工中の工事の中から契約金額、進捗状況、事業の注目度等を考慮し、「四条畷駅東側ペデストリアンデッキ新築工事」を本件監査の対象と決定した。

3. 監査方法

本件監査には工事技術に関する専門的知識を必要とするため、協同組合総合技術士連合との間で業務委託契約を締結し、協同組合総合技術士連合の技術士、外丸敏明氏の支援の下で執行した。

以下に外丸技術士による工事技術調査業務報告書の内容を示す。

4. 調査の概要

4-1 技術調査対象工事名称

四条畷駅東側ペデストリアンデッキ新築工事

4-2 調査実施日

令和7年1月17日（金）

4-3 調査場所

大東市役所 西別館5階第1会議室及び現地

4-4 技術調査業務実施技術士

協同組合 総合技術士連合

外丸 敏明 技術士（建設部門/総合技術監理部門）

〒530-0047 大阪市北区西天満5丁目1番19号（高木ビル408）

4-5 工事概要

4-5-1 工事場所

大東市学園町地内

4-5-2 工事概要

建築工事 一式

昇降機設備工事 一式
電気工事 一式
機械設備工事 一式

4-5-3 工事請負業者
大鉄工業株式会社

4-5-4 設計監理業務委託者
設計：ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社
監理：ジェイアール西日本コンサルタンツ株式会社

4-5-5 請負金額
539,000,000円

4-5-6 工事期間
令和5年12月18日 ～ 令和7年3月31日

4-5-7 工事進捗状況
計画80%、実施65%（令和7年1月17日現在）

5. 調査の結論

工事調査資料及び関係書類並びに現地調査のうちからサンプリングを行った。各プロセスの技術調査着眼点について所定の検査項目及び不可視部分の試験以外の記録による確認等の質疑応答を行った。質疑に関する回答（口頭及び資料による）は、十分なものであった。技術調査の結果、工事全般に関する大きな問題点は見当たらなかったのでサンプリング範囲では非常に良いと認めた。

サンプリングにより調査した事項のうち主な内容の要点を「6. 調査の所見」の「計画・実施・評価・改善」の項に沿って記す。尚、「計画・実施・評価」の内容は通常の適正な運用内容を記し、「改善」は、注意・要望・検討を要する点を「改善提案」に記し、良い事例は「効果的な改善事例」にそれぞれ記すものとする。

6. 調査の所見

6-1 計画

6-1-1 工事の目的

平成22年度に、四条畷駅周辺整備基本構想を策定し、現在は駅前における安全性と利便性の向上など、良好な駅前空間の形成を目的に、四条畷駅周辺整事業を展開し、駅前広場や道路の整備を進めている。

今回整備するペデストリアンデッキは、既存駅舎（２階）と駅前広場を道路上空で結ぶ歩行者専用通路として整備し、駅利用者等が道路上を横断せず通行が可能となります。これにより、歩行者と自動車の分離を図り、交通事故の防止につながるなど、安全性と利便性を向上させ、魅力ある駅前空間の形成につなげることを目的としている。

6-1-2 設計方針

設計は、発注者・市民等のニーズをふまえ設計している。例えば、隣接する建物所有者より目隠しフェンスの設置要望があり、景観に配慮した設計をしている。また、駅前広場からの利便性や滞留空間をコンセプトモチーフの考えで検証したうえで決定している。

施工着手に先立ち設計説明会を実施し、設計意図や施工上の配慮事項等を施工者・監理者と共有している。

6-1-3 積算基準等（主要なもの）

（主要な計画・調査・実施設計等に使用した基準・指針・調書等）

図書の名称	著者	発行年月日
官庁施設の総合耐震・対津波計画基準及び同解説	国土交通省	R3 年版
公共建築工事標準仕様書	国土交通省	R4 年版
構内舗装・排水設計基準	国土交通省	H27 年版
鉄道建築物設計・施工標準	西日本旅客鉄道株式会社	2023 年版
営業線近接工事保安関係標準示方書	西日本旅客鉄道株式会社	2023 年版

（主要な単価・歩掛・積算・設計書作成に使用した基準・指針・調書）

図書の名称	著者	発行年月日
公共建築工事積算基準	国土交通省	R3 年版
コスト情報	建設物価調査会	2023 年冬号
単価	経済調査会	2023 年冬号
建設物価	建設物価調査会	2023 年 2 月号
積算資料	経済調査会	2023 年 2 月号
RIBC 単価	大東市	R4 年（冬）
大東市建築工事積算要領	大東市	R3 年 12 月 8 日改訂

（積算）

単価・歩掛の無い場合の取扱、市場流通単価の把握と利用	単価の優先順位は、①R I B C 単価、②刊行物（２誌比較の上安価を採用）、③３社見積りによる安価を採用している。また、営繕積算システム R I B C 2 を採用している。
数量算出、設計書の照査	工事区分・拾い区分の確認、数量算出書の集計が設計書の数量に反映されているか等の整合性について確認を行っている。見積項目について指定の査定率で査定されているか確認を行っている。

6-1-4 入札・契約

第1回入札を令和5年6月1日に一般競争入札にて公告し、6月29日に開札を行ったが、1者のみの応札（予定価格以上）であり、入札参加者が2者に満たず中止となった。

第2回入札を8月10日に一般競争入札にて公告し、9月14日に開札を行ったが、1者のみの応札（予定価格以上）であり、入札参加者が2者に満たず中止となった。

第3回入札を11月1日に一般競争入札にて公告し、11月14日に開札を行ったが、1者のみの応札（予定価格内）であり、入札参加者が2者に満たず中止となった。

以上、3回の入札に付したが落札者がおらず、11月17日に3回の入札に参加した大鉄工業株式会社と随意契約にて、議会の議決をもって契約が成立する仮契約を締結している。

6-1-5 保証、保険

① 履行保証は、東京海上日動火災保険株式会社と請負代金額の10%について、受注者から書面提出を受け適正に管理している。前払金保証は、西日本建設業保証株式会社と請負金額の40%について、受注者からの保証証書の寄託を受けて適正に管理している。

② 建設業退職金共済制度の掛金収納書は、適正に管理している。

③ 労災保険関係成立票の掲示状況は適正である。

6-1-6 コスト縮減・効率化対策

耐候性・耐久性が高い材料・仕様を選定することで、メンテナンスの軽減やランニングコストの低減に配慮している。仕上げ材料において、使用可能な部分は既製品など汎用性が高い材料を選定することで、効率化やコスト縮減に配慮している。

6-2 実施

6-2-1 品質管理（主に施工管理）

総合施工計画書や工種別施工計画書は、所定の承認を得て作成している。現況は、地元の道路を通過するため、地域の代表と十分なコミュニケーションを図り理解を得て工事を行っている。

昇降機設備工事は、工事の関係で住民への仮歩行ルートとなっており運用している。電気工事および機械設備工事は、受入検査の状況をヒアリングした。受入検査を実施し記録で残すことにより、適正な製品を使用し次工程へリリースしていることを確認した。

6-2-2 原価管理

原価管理は、工事開始に伴う確認をして工事の効率化に努めている。確認事項については所定の書式により確認をしている。また、コスト縮減・効率化対策で述べているようにメンテナンス軽減のため材料の選定や汎用性の高い材料の選定により効率化に努めている。

6-2-3 工程管理

工事は、令和7年1月17日現在、計画80%、実施65%である。工事が推移した要因は、日常の打合せなどの密なコミュニケーションが大きいとしている。現場が一丸となって業務をしている。さらに、工事監理業務は所定の手順に従い実施している。

6-2-4 安全衛生管理

作業所は、無事故無災害で推移している。全般に、安全対策として工事期間中の無事故・無災害、新規入場者教育の実施、朝礼の実施、安全衛生管理、関連業者との調整などを挙げている。例えば、新規入場者教育では作業員全員に対して現場新規入場時に安全に作業が出来るように教育を行っている。さらに、安全掲示板の付近に安全帯のフック装着の訓練ができるようにしている。

衛生対策は、熱中症対策としてWBGT値の活用を含め作業環境管理・作業管理・健康管理を挙げて万全を期している。

6-2-5 環境管理

環境管理として作業廃棄物処分計画を明記している。現場から産業廃棄物の搬出を極力抑制するため、建設廃棄物の発生量の抑制並びに、工事現場内での、建設廃棄物の再利用及び減量化に努めている。

6-2-6 法令遵守

工事の各プロセスについて、発注者の要求事項や法令等を遵守し工事をしている。また、利害関係者（地元住民、発注者、協力会社等）の要求も理解し工事をしている。

6-3 評価

6-3-1 品質管理

杭工事の杭偏芯量は全本数検測し合格している。また、鉄筋工事の最小かぶり厚さ、鉄骨工事の溶接部の試験等も実施し合格している。

さらに、塗装工の素地調整・清掃を含めた各段階での状況は、適正に管理していることを確認した。

6-3-2 出来形管理

地業工事の杭の支持層根入れ深さや、鉄筋工事の径やピッチ、鉄骨工事の建て方等の各許容値も満たしている。

6-3-3 写真管理

全般に、整理され数値が見えるように撮影している。また、塗装工や圧接工等の不可視部分や安全管理の状況も適正に管理している。

6-4 改善

6-4-1 改善提案

- ① 総合施工計画書の第2章施工方針の4)にて、安全管理を明記し熱中症について衛生管理として記述している。衛生管理は、その他にも新型コロナや季節性インフルエンザ等もあり追記することを推奨する。
- ② 現場巡回では以下の内容を検出した。
 - ・現場事務所2階の通路は物が落下したときに1階に落ちる危険性がある。リスクの低減を推奨する。
 - ・駐車場の完全な車両の停止時は、可能なら車両を出船方式（頭から出る方式）に統一しリスクの低減を推奨する。
 - ・柱番号X2付近では、段差が60cm程度の掘り込み状態になっており頻繁に資機材運搬をしている。転倒等のリスク回避のため注意喚起等を行うなどを推奨する。

6-4-2 効果的な改善事例

- ① 設計に際し見栄えや思い等の抽象的な事柄は、コンセプトモチーフの考えで見える化した資料を作り分かり易く作成している。
- ② 現場巡回では以下の内容を検出した。
 - ・現場の万能堀沿いに種々の情報をデジタル化した「デジタルサイネージ」を設置し工事の進み具合や子供への占いなどによりコミュニケーションを図っている。

7. 工事写真

	内 容： 法定掲示板状況
	内 容： 外観状況 (東側方向)
	内 容： 外観状況 (西側方向)

以上